

様式第1号 (第4条関係)

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和4年5月20日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名 さいたま有機都市計画

代表者氏名 田島 反里子

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 450,000 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



事業計画書

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

* 事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ さいたま Organic City Fes.
事業の分野	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ <input type="checkbox"/> (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度) <input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input checked="" type="checkbox"/> 社会教育 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 農村漁村 <input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権・平和 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 情報化社会 <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 経済活動 <input type="checkbox"/> 職業・雇用 <input type="checkbox"/> 消費者保護 <input type="checkbox"/> その他 ()
と その 概 要	有機農業をキーワードとしたマルシェを行い、さいたま市のこれかぎの農と街の持続的なあり方への興味関心を、楽しみながら市民の中で醸成していく事業。
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 農業政策課
マッチングファンドの申請回数 (前回の結果)	* マatchingファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り (効果・成果) を記入してください。 1 回目 (前回助成を受けた年度: 年度)
対 象 者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ さいたま市民および有機農業に関心を持つ人全般
実 施 期 間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 4 年 5 月 ~ 令和 4 年 12 月
総 事 業 費	*この事業は、いくらが必要ですか？ (そのうち助成金はいくらですか？) 513,000 円 (助成金交付申請額 450,000 円)
事 業 の テ ー マ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

1	現状における課題と事業の目的
<p>*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）</p> <p>市民間において食や自然環境への関心が高いにも関わらず、その関心に応えられる場が現状市内に少ない。一方で、農業は街のあり方を規定する不可欠な産業であり、市民一人ひとりがさらに地域農業について関心をもつことは今後の街づくりを考えるにあたり非常に重要であるが、そもそも市民にとって農業に触れる機会が極めて少なく、関心を持つきっかけがない。</p> <p>また、さいたま市近郊には有機農業を実践する農家が多くいるにも関わらずそれぞれが個々に点在して独自で事業をしているため、生産者同士、消費者とのつながりが限定的になってしまい、さいたま市という地域で有機農業を盛り上げるというつながりが現状十分ではない。</p>	
<p>*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？</p> <p>国の施策として有機農業を推進していく大きな動きが出てきているが、市民が参加可能な具体的施策があまり実施されていない。</p>	
<p>*この事業は、何を目的に設定しましたか？ （目的：課題に対応して何を指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）</p> <p>さいたま市民が、有機農業に関心を持ち、地域循環や持続可能性の追求といった都市における農業の在り方を理解し、行政による主導ではなく自らがさいたま市の有機農業に様々な形で関わり、有機農業を通じたまちづくりに参加するようになる。</p>	

2	事業の具体的な内容
<p>*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で）</p> <p>※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
事業①の事業名	さいたま Organic City Fes.
いつ（ころ）	R4 11月の土日祝のどこか1日
どこで	浦和駅東口駅前市民広場
だれが（主体） だれに（対象）	さいたま有機都市計画、埼玉県内有機農家、市内外の有機農業に関心をもつ飲食店、市民、農業政策課。 さいたま市民及び有機農業に関心がある方全般に。
なにを	有機農家やボランティア市民による農産物の直接の販売や、ワークショップ、展示、相談窓口の設置、ライブなどを総合した有機農業のイベントを、有機農業に関心を持つ人の絶対数が多く、かつ、関心のない人でも気軽に立ち寄ることができる浦和駅前という場所で開催する。
どうする	誰でも参加できる楽しい有機農業のイベントを通して、さいたま市における食や環境、今後の農業のあり方について市民が自然に考えるきっかけとなる場を、市民とともに創造していく。 「さいたま＝有機農業」という街のイメージを、街にくらす人たちみんなで作って、さいたま市の魅力的な特徴としてふくらませていく。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

3 事業により期待できる成果・効果

*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？
 (団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)

団体 有機農業についての理解が市民の中で広く深く浸透していく一つのきっかけになる。さいたまを有機農業の街にしたいという団体内の目標に向かう具体的な取り組みになる。

市 SDGsが話題になる昨今、有機農業も同じく社会情勢として避けては通れないキーワードになりつつあり、この事業により市民感覚の中での有機農業の捉え方や、関心、需要などを知る現場になる。今後の農政や街づくりに活かすことができる。

参加者 有機農業や食、環境への関心がある市民同士の交流の場になる。もともと関心が少ない市民にとっても、おいしく新鮮な農産物などを生産者から直接購入することを通して、楽しく気軽に有機農業に触れる機会となる。この事業へ積極的に参加することで、さいたま=有機農業の街というブランドを自分たち自身でつくっているという実感をもつことができ、さいたま市への誇り・愛着が強まる。

4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性

*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？

「畑でマルシェとお弁当」というマルシェイベントを見沼たんぼ内の畑で開催。有機農家のメンバーが自ら育てた野菜や新米を直接販売。有機野菜のお弁当や加工品を販売。市内外はもちろん県外からも多数来場し有機農業の楽しさ大切さを伝えることができた。新聞や雑誌などのメディアにも取り上げられ、いっそう理解をひろめることができた。

「オーガニック session」という勉強会を開催した。大学講師を畑に招き、農家と市民と専門家を交えて有機農業についての現状や展望などを話し合った。

市内で行われているイベントに団体として多々呼んでいただき、農産物の販売を通して有機農業の普及を行っている。

サポートメンバーという農家ではない人もグループに受け入れ、農作業の体験やイベントなど農家と市民が気軽に交流できる場を提供している。

*この課題に関連して、団体がもつ強みや生かせるノウハウはどんなこと

私たちの団体は、7名の農家（内2法人）と約60名のさいたま市民を中心とするサポートメンバーで構成されており、生産者と消費者の両面の実際の見方を持っていることが強みである。有機農業について市民が求めているビジョンと、生産者のリアルをすり合わせてイベントをつくりこむことができる。

*この課題に取り組む団体の思い（熱意・姿勢）はどんなことがありますか？

私たちは、育てた野菜を食べてくれている人がいるんだという実感と、食べている野菜を育ててくれている人がいるんだという実感を、作り手と食べ手の両サイドからふくらませて、重なっていけばいいなと思いこの団体を立ち上げました。今回の事業は、私たちの目指している農と街の相互理解や持続的なあり方を体現していく一つの舞台になると思っています。この事業を長く続け、関わってくれる人をどんどん増やし、さいたま市の有機農業シーンの象徴的なイベントになるように市民みんなで育てていきたいと思っています。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

5 市との協働に期待すること

*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）

農業政策課

*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？

今回の事業は、街と農業をリンクさせ持続可能な地域づくりを目指すための一つの具体的な方法であり、協働を実施することそのものが、市から市民へのメッセージになる。
また、行政には私たちの団体の独りよがりな事業にならないように適切に調整、フォローしてもらいたい。団体と市民両方にとって効果的な事業を実施するためにも、もっとも適当なパートナーであると考えている。農業や地域に関するデータの提供や市民に対する広報に関しても大変期待している。

*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。

■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援

「 地域から出店農家の紹介 」

「 周辺施設との協議 」

「 新規就農の相談ブース設営 」

「 」

■市が持つ施設などの資源による協力・支援

「 イベント会場（市民広場）の貸し出し 」

「 打合せ会場の貸し出し 」

「 」

「 」

■市が持つ発信力・情報（提供）の資源による協力・支援

「 イベントの広報 」

「 さいたま市における農業データの提供 」

「 」

■その他

「 コロナ対策のガイドラインの提供 」

「 イベントを盛り上げる企画の提案 」

「 」

6 助成終了後の事業展開

*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？

※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

私たちの団体をはじめ、さいたま市内において食や環境保全などに対して個々に活動している農家や興味を持っている市民が一年に一度集う象徴的なイベントにしていきたい。また興味がない人でも気軽に参加できる楽しいイベントにしていきたい。継続的に実施することで、さいたま＝有機農業の街というイメージを市民自らで作っていききたい。そのブランドイメージを誇れる市民意識を醸成していき、街のあり方をより持続的な形にしていく。

今回の事業に関わらず、マルシェの開催については別の場所で経験があるため、自立事業としても問題なくやっていけるノウハウはすでにあると思う。ただ、地域を巻き込んだ市民への意識啓発のためには、団体が自立事業として単独で実施するのではなく、行政と協働で行うことが必要不可欠であると考えているため、助成終了後も行政と継続して協働する事業体制を望む。

また、今回は第一回のイベントということで広告宣伝費に重点をおくのが効果的であると考えているため、助成金を活用したい。協働することで、より多くの人にイベントに関心を持ち楽しんでもらえるようになり、その人たちが2回目3回目を楽しみにしてくれることで、ゆくゆくは宣伝費をかけなくても自然に人が集まるようなイベント開催を目指す。そのため、毎回必要になるであろうテントや音響などの設備は、助成金でリースせず初回から団体で用意し、継続して使用する予定である。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

7	事業の詳細な計画	
事業①の事業名	さいたま Organic City Fes.	
*事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。		
実施時期	実施内容	
R4 5月	事業正式決定後、市民からの実行委員選出。	
	打合せ、事業内イベント案の策定。	
	イベントの周知開始。	
R4 6月～10月	実行委員の打合せ（月1程度） 市と実行委員の打合せ（月1程度）。	
R4 6月～8月	出店者募集、決定。事業内イベントの決定。SNSなどで進捗などを随時公表。 当日ボランティアの募集。チラシ発行（数回に分け掲示、配布）	
R4 8月～9月	のぼりや横断幕の作成等。	
R4 9月～10月	市、実行委員、出展者打合せ。（二回程度）	
R4 11月	事業実施	
R4 12月	市、実行委員、出店者で反省会。	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

8 事業の実施体制		
* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。		
氏名	団体における役職等	この事業における役割
田島友里子	代表	代表
		副代表
		実行委員
		実行委員
		実行委員
		実行委員
		実行委員

9 他団体との連携状況	
* この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※ 企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。 農家や飲食店はじめ多様な個人、団体と連携していきたい。また埼玉大学などの学生とも協力していきたい。事業正式決定後、アプローチしていく。	
※ パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。	

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区 分		算出根拠	金 額
収入合計 (A)		(a) + (b)	513,000
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d)と同額	63,000
団体の自己資金	① 自己資金	会費	18,000
	②		
	③		
費用の徴収	④ 出店料	1500 円×30 ブース	45,000
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c)と同額	450,000

<支出>

区 分		算出根拠	金 額	
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	513,000	
助成対象経費 のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 印刷製本費	のぼり費用一式×20 (デザイン、印刷) 140,000 円 チラシ2万枚 (デザイン、印刷)、ポスター、100,000 円 横断幕一枚 (デザイン、作成) 30,000 円	270,000	
	② 報酬・謝金	講師、パフォーマー謝礼10名	100,000	
	③ 消耗品費	コロナ対策費用 (マスク、アルコールなど) 10,000 円 イベントに使用する文具類 (養生テープ、筆記具、ファイルなど) 20,000 円	30,000	
	④ 保険料	イベント保険 (参加者のけがなど対応)	10,000	
	⑤ 役務費	雑誌、新聞、SNS などへの宣伝費用、チラシの新聞折り込み料	40,000	
	⑥			
助成金充当経費計 (c)		①～⑥の合計 (b)と同額	450,000	
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑦			
	⑧			
	⑨			
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 ((c)の10%以内)	⑩ 備品代	入口モニュメント作成費用(ディスプレイ用米俵など) 100,000 円 の内 45,000 円	45,000
		⑪		
		⑫		
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑬ 人件費	6時間×3人×1,000円	18,000
		⑭		
⑮				
自己資金充当経費計 (d)		⑦～⑮の合計 (a)と同額	63,000	

※ (A) = (B)、(a) = (d)、(b) = (c) になるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額	算出根拠 [自己資金 (a) の3倍の金額]		
189,000	63,000	×	3倍

労力換算額 (無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額) (=1~10の計)

金額	算出根拠		金額
	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠 [人数×時間×500円]	
290,000	1	6月~10月 (月1回) ・ 実行委員の打ち合わせ 5回×3時間	75,000
		10人 × 15時間 × 500円	
	2	6月~10月 (月1回) ・ 市と実行委員の打ち合わせ 5回×3時間	75,000
		10人 × 15時間 × 500円	
	3	9月・10月 ・ 市と実行委員と出展者の打ち合わせ 2回×3時間	30,000
		10人 × 6時間 × 500円	
4	11月本番 ・ 当日設営、受付、見回り	50,000	
	10人 × 10時間 × 500円		
5	5月~12月 ・ 事業に係る作業 (出店交渉、連絡、資料作成に係る打ち合わせ等)	50,000	
	10人 × 10時間 × 500円		
6	8月 ・ 周知・広報に係る作業	10,000	
	10人 × 2時間 × 500円		

助成金限度額(Z)		=(e)+(f)	
金額 (合計)	算出根拠 [自己資金の3倍の金額 + 労力換算額]		
479,000	189,000	+	290,000

助成金交付申請額(b)	≤	(Z)助成金限度額
450,000円	≤	479,000円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏名 注 署名によらない場合は押印してください	住所
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]
1~6	[Redacted]	[Redacted]

- * 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。
- * 実績報告書に添付する際は、氏名欄に参加者の自署または記名押印をしてください。
- * 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加してご記入ください。

団体概要

(ふりがな) 団体名	さいたまゆうきとしけいかく	
(ふりがな) 代表者	さいたま有機都市計画	
(ふりがな) 代表者	たじまゆりこ	
連絡責任者	(ふりがな) 氏名	[REDACTED]
	住所	
	電話/FAX	
	E-mail	
設立年月日	2020 年 7 月 11 日	
団体の目的	有機農業の普及と実践。生産者と消費者をつなげる。循環型社会の創造。有機農業を軸にした街づくりの実践。	
会員数	個人会員 7 名 (正会員のみ)	
さいたま市内における 主な活動内容	<p>有機農業を軸に市内で以下のような活動をしている。</p> <p>「畑でマルシェとお弁当」というマルシェイベントを見沼たんぼ内の畑で開催。有機農家のメンバーが自ら育てた野菜や新米を直接販売。有機野菜のお弁当や加工品を販売。市内市外はもちろん県外からも多数来場し有機農業の楽しさ大切さを伝える活動をしている。</p> <p>「オーガニック session」という大学講師を畑に招き、農家と市民と専門家を交えて有機農業についての現状や展望などの勉強会を開催している。</p> <p>市内で行われているイベントに団体として多々呼んでいただき、農産物の販売を通して有機農業の普及を行っている。</p> <p>サポートメンバーという農家ではない人もグループに受け入れ、農作業の体験やイベントなど農家と市民が気軽に交流できる場を提供している。</p>	
団体の財政規模	本年度予算 (令和3年 7月 ~ 令和4年 6月)	
	<収入の部>	
	会費収入	110 千円
	寄附収入	0 千円
	事業収入	0 千円
	その他収入	114 千円
	計	224 千円
	<支出の部>	
	事業費	110 千円
	管理運営費	0 千円
その他支出	0 千円	
次期繰越金	114 千円	
計	224 千円	
団体の財政規模	前年度決算 (令和2年 7月 ~ 令和3年 6月)	
	<収入の部>	
	会費収入	142 千円
	寄附収入	0 千円
	事業収入	0 千円
	その他収入	0 千円
	計	142 千円
	<支出の部>	
	事業費	28 千円
	管理運営費	0 千円
その他支出	0 千円	
次期繰越金	114 千円	
計	142 千円	
添付書類	<p>* <input type="checkbox"/> (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 定款又は会則等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度の団体の活動予算書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書(収支計算書)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面(任意団体のみ)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書(任意団体のみ)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	